

No.10 建設防災 ボランティアニュース

発行人 沼尻 執
編集人 城之内一成
発行 東京都建設防災ボランティア協会
事務局 (財) 東京都駐車場公社内(Tel: 03-5381-3370)
横田マリ子、金田宗明
(財) 東京都公園協会内(Tel: 042-548-9161)
荒木 清

平成15年度東京都・日野市総合防災訓練写真集



石原知事作業状況視察（道路障害物除去訓練）



浅川に架かる新井橋上から視察する小峰東京都技監



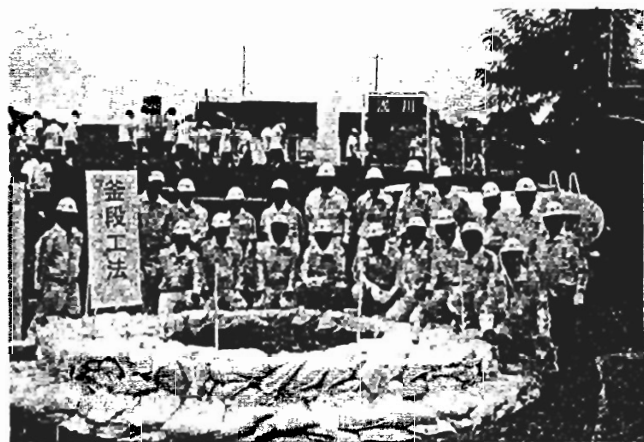
岩永局本部長講評（道路啓開）



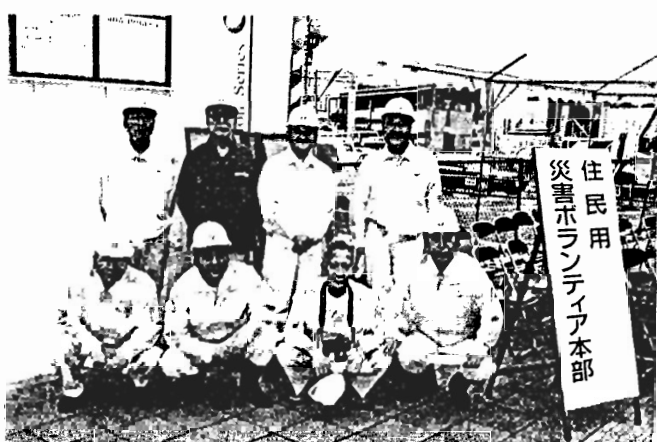
五味所本部長講評（同左）



村野副所長の講評（水防訓練）



作業終了後記念撮影する水防班（浅川河川敷）



作業終了後記念撮影する道路啓開班の精鋭

総合防災訓練に参加して

水防訓練班 中西 徹

平成15年9月1日に「平成15年度東京都・日野市合同総合防災訓練」が行われ、訓練会場の1つとなった日野市の浅川に架かる新井橋周辺会場における訓練の中で、堤防損壊対策（水防訓練）に建設防災ボランティアのメンバー20人が参加した。

今回の訓練では、多摩地区直下を震源とする強い地震が発生し、日野市で震度6弱以上を記録、多摩地域を中心とした広域的な被害が発生しているとの想定のもとに、発生直後、市民による自助・共助体制（要援護者対応）の確立、東京都・日野市・各関係機関が連携した災害対応能力の向上を目指すことを目的としたものである。

訓練は、堤防の損壊被害が発生したとの想定で、水防工法設置（土嚢積み工法、月の輪工法、釜段工法、大型土嚢作製）、排水ポンプ操作訓練、水陸両用車試乗体験等が行われ、建設局河川部、南多摩西部建設事務所、国土交通省、日野市、建設防災ボランティア、委託業者が参加、それに市民参加として日野高校運動部（野球部、サッカー部、バスケット部）の約100人も加わり、建設防災ボランティアは、水防工法の工法別に班を分け設置訓練を行うとともに、これに携わる高校生の指導や水陸両用車試乗体験の案内等に従事した。

新井橋周辺会場では8時15分までに予定された建設防災ボランティア20人全員が集合し、8時30分南多摩西部建設事務所副所長の訓示を皮切りに訓練が開始された。

当日の天気はうす曇で風もなく、浅川河川敷の広々とした快適な環境の中で順調に訓練が進められ、9時45分始業式を終えたばかりの日野高校生も駆け足で会場に到着、早速訓練に加わった。10時頃には石原知事も新井橋橋上から訓練状況を視察、また周辺住民の方々も訓練開始後徐々に集まり始め、多数の人々が堤防上で見守っていた。10時50分には訓練を終了し、副所長の講評があり、関係機関や高校生達が円滑に連携し、事故もなく訓練内容を熱心に予定どおり遂行したことで「100点満点」であるとの話であった。

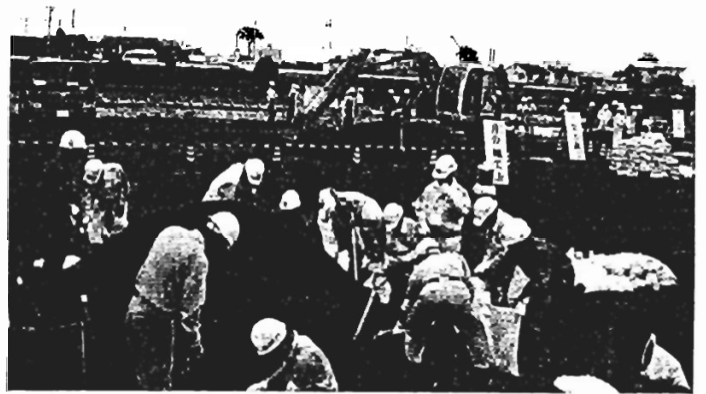
訓練後はボランティア同志、高幡不動駅近くのそば屋で、100点満点にもかかわらず反省会を行い、会員相互の連帯感を深めたところである。

今回の訓練では8月27日に南多摩西部建設事務所と建設防災ボランティアによる事前訓練で、本訓練の詳細内容や、土嚢つくりを始め水防工法を習熟したことにより本訓練を円滑に進められたこと、日野高校生の訓練が実質1時間で、集中的に緊張した中で効率良く行ったこと、南多摩西部建設事務所職員のきびきびした的確な指示があったことなど、総合防災訓練の成果は十分あったと思う。

今回の訓練に参加して「災害は忘れた頃にやってくる」

ということを忘れないで、日頃の訓練や市民参加を含めたボランティア参加者の拡大、関係機関相互の連携などが重要であると改めて感じたところである。

総合防災訓練写真集の続き



ボランティア協会員による大型土嚢製作作業風景



月の輪工法完成後、日野高校運動部員と記念撮影



瓦礫に埋まっている乗用車の再現風景（道路啓開）

平成15年度「東京都・日野市合同総合防災訓練」への参加報告について

道路障害物除去班 堀内 康彦

「平成15年9月1日（月）7時30分頃、多摩地区直下を震源とする強い地震が発生し、日野市で震度6弱以上を記録、市内各地で住宅・商業施設・文化財に被害、更に堤防・橋梁の損壊、崖崩れによる被害が発生。また、道路・モノレール・鉄道等の交通網が遮断され、電気・ガス・水道等のライフラインも寸断された」との想定のもとに総合防災訓練が日野市内6箇所の会場で実施され、我が防災ボランティア協会も道路、河川班に分かれて主に多摩地区在住の会員が参加した。

そのうち、8名が参加した道路班の訓練状況を報告します。

1. 参加者 雑賀、輿水、香月、瀧下、武内、田口、永田、堀内
2. 訓練場所 高幡不動駅周辺会場（道路障害物除去訓練）（南西建管内）
3. 訓練の目的 災害発生直後、市民による自助、共助体制（要援護者対応）の確立、東京都・日野市・各関係機関が連携した災害対応能力の向上を目指す。
4. 訓練概要
 - 8:45 五味所本部長の訓示
 - 8:48 谷本応急対策班長（補修課長）の「各自持場につけ」の号令（雑賀、輿水両協会委員は本部付き）
 - 8:55～9:00の間に現道（片側）の交通規制（警視庁）・訓練準備完了
 - 9:00 情報付与No.1（被害の点検結果報告）滝下協会員
「一般都道235号日野バイパスの多摩平5丁目交差点にて、マンションの一部が崩壊しガレキと街路樹が大量に散乱。交通遮断。住民が取り残されている模様」
 - 9:01 谷本応急対策班長の「訓練を開始せよ」の号令で被害現場への資機材搬入開始。
 - 9:03 情報付与No.2（被害の点検結果報告）香月協会員
「日野駅前の甲州街道と一般都道169号交差点にて、都道に乗用車が散乱し、交通が遮断されている。火災の恐れがあり、住民の避難ができません。至急、対応願います。」
 - 9:05 警視庁が中古車両等を搬入して被害現場の再現開始
 - 9:07 情報付与No.3（被害の点検結果報告）田口協会員
「主要地方道第41号川崎街道の高幡橋際のブロック塀が倒壊、乗用車がガレキの中に埋まり、交通が遮断しています。至急、対応を願います。」

- 9:10 中古車両、ガラ等を搬入して被害現場の再現開始
- 9:11 情報付与No.4（被害の点検結果報告）武内協会員
「日野市南平二、四丁目交差点付近にて、路上に電柱、街路灯、街路樹が散乱。交通が遮断されている。住民の方々が出て、避難のため除去しています。至急、対応願います。」
- 9:12 街路樹、電柱、街路灯を搬入して被害現場の再現開始。
この場所は、作業着手に合わせ永田、堀内協会員が住民と一緒に除去作業と避難訓練を実施。
- 9:15 情報付与No.5（被害の点検結果報告）桜井日野工区長。
「主要地方道第20号、日野市落川地内の各地で地割れが多数あり、緊急物資輸送車が立ち往生しています。至急、対応願います。」
- 9:16 段差復旧の資機材が搬入。
- 9:20 全て準備が完了したことを、各ブロックの連絡者が谷本応急対策班長へ報告。
- 9:21 五味所本部長から谷本応急対策班長へ、道路障害物除去作業着手命令が出され、一斉に各ブロックで除去作業が着手される。
- 9:22 障害物除去作業着手、早々に石原知事が岩永局本部長の説明で復旧作業状況を視察。
- 9:45 谷本応急対策班長から五味所本部長に復旧作業完了報告、1車線を確保
- 10:00 各ブロックの連絡員から谷本応急対策班長へ跡片付けまで全て完了したことを報告
- 10:00～30 建設局ジープ・巡回車が確保した1車線を通過して訓練が終了、続いて道路清掃を行った後、訓練現道区間の交通規制解除。
- 10:35 岩永局本部長、五味所本部長より講評があり、建設防災ボランティア協会員に対しても感謝の言葉がありました。
以上が防災訓練の概要です。

防災訓練は、分刻みで実践しながら実施され、周到な準備、入念なりハーサル（8月27日）を行った甲斐があつて、無事に終了できたことは申すまでもなく、五味所長のもと関係者全員の協力の賜物と思っています。

リハーサルの日の猛暑に比べ、訓練当日は、薄曇りで涼しく厚手の防災ボランティアの制服が清々しく感じられました。

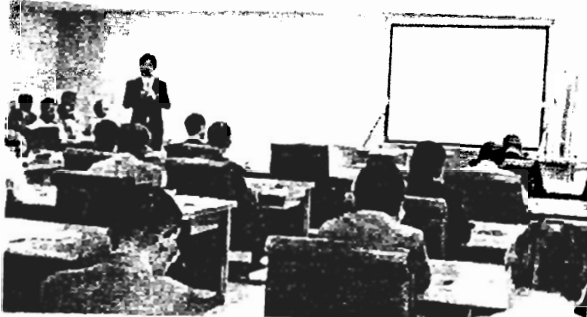
訓練に参加させていただき、貴重な体験ができたことを本紙をお借りして感謝申し上げます。皆様、大変お疲れさまでした。

15年度砂防講習会開催

9月26日、都庁第一庁舎42階北塔 特別会議室において、砂防講習会が開催されました。

講習会は、砂防ボランティア会員を対象に行われ、講師は、昨年同様の河川部の砂防関係長と今年は特別講師として新交通建設事務所の石井工事課長にお願いしました。講演内容の次第は次の通りです。

- (1) 「最近の災害と砂防海岸整備事業の現状について」
河川部防災課砂防係長 今野 勇 悟
- (2) 「土砂災害ソフト対策について」
河川部計画課計画調査係長 村 山 眞
- (3) 「三宅島火山砂防激特事業の現状について」
河川部防災課緊急砂防担当係長 高 橋 清
- (4) 「総合防災訓練及び水防について」
河川部防災課防災係長 永 井 守
- (5) 「災害時の危機管理について」
新交通建設事務所工事課長 石 井 俊 一



挨拶する飯塚防災課長

飯塚課長は、挨拶の中で「河川愛護月間行事や、9月1日の総合防災訓練の参加等々で、日頃からボランティア協会の方々には大変お世話になり、感謝していること。また、本日9月26日は、(昨年のこの講習会も同じ日に開催された)台風の特異日に指定されていて、伊勢湾台風もこの日に襲ってきた。」と興味あるお話をされました。

5名の講師は、持ち時間30分の中で、プロジェクターを駆使してそれぞれの担当業務を説明していました。

特に、石井課長の講演は平成12年の三宅島噴火の際に現地にいて、陣頭指揮した貴重な体験をとおしての危機管理の話で、大変参考になりました。

河川愛護月間行事の意見交換会開催

去る11月7日、河川部・担当事務所・ボランティア協会が都庁に集合し、今年度の河川愛護月間行事に関して、昨年度に引き続き、意見交換会が行われました。

会議は、鈴木河川部長の挨拶で始まり、出席者の自己紹介(河川部5名、事務所12名、ボランティア10名)、15年度行事の実施報告の後、河川部で用意した行事参加者(都民)の声、事務所(行事主催者)からの意見等の資料を参考にしながら、活発な意見交換が行われました。

幾つかの課題を改善して、来年も頑張ることを一同誓い合って会議は和やかなうちに終了しました。

寄稿 「動物園パスポート」

—平成15年7月19日・発売予定—

(報告者：上動チームリーダー 小森和雄)

6月下旬、平成15年度建設防災ボランティア協会の事業概要の説明に上野動物園をおとづれました。その時、「動物園パスポート」販売のポスターが目にとまりました。3回の入園料で一年間フリーパス！迷わず予約しました。



3動物園のパスポート(上野・多摩・井の頭)

上野・多摩・井の頭と、3園別々に販売すること。

7月中旬に、3園全てのパスポートを購入しました。

このパスポートは、上野7千枚・多摩6.5千枚・井の頭6千枚と、限定販売で、上野・井の頭は、近隣の人達を中心に、順調な売行きとのことです。なお、葛西臨海水族園や複数園共通パスポートは、今後検討とのことです。

動物園・公園には、動物園協会・公園協会が、それぞれ主催している「東京動物園友の会<年会費3,7千円>」と「東京都公園協会友の会(東京パークランド)<年会費2千円>」という制度もあります。

会員になると、各協会が主催する催物の優先案内や、動物園協会は、月刊誌「どうぶつと動物園」を、公園協会は、カレンダーや季刊誌「緑と水のひろば」が送付されてくるので、動物園・公園の様子がよくわかります。また、この会員証持参で、都立の動物・水族園及び有料公園に団体料金(2割引)で入園できます。更に、動物園友の会は、動物園協会売店・食堂での2割引の特典もあります。

私は、5種類全てのカードを持ち歩いています。動物園・公園にも目を向けて頂き、カードを1枚でも、2枚でも！ご支援をお願いします。



会員証

平成15年度後期道路施設点検

四建班 丸山 勝彦

道路施設点検は平成12年度から全建設事務所が一斉に、年2回(春秋)に実施することとしてスタートし、四建では今年からボランティアが特別参加をした。

ボランティアは大先輩の小野瀬さん、三原氏、中島氏、丸山の4名です。

今回は年2回のうち、秋の点検として10月6日～10月17日に16路線49kmを補修課当番で実施した。(春は管理課)。

1. 点検範囲(ボランティア担当区域)

次の区間の歩道を中心に往復実施。特に、日々そこを利用する都民の視点で点検せよとの指示がありました。

10月6日 環八通りの地下鉄三田線の交差点から板橋区と北区との界までを中島氏

10月9日 千川道り交差点から中野区との界までの目白通りを三原氏、丸山

10月17日 新目白通りと山手線交差点から千登世橋経由目白駅までの目白・山手通りを小野瀬氏

2. 点検内容

点検内容は下記のとおりであるが、特に防護柵、路上放置物、反射テープ等の不備について所長から具体的に指示がありました。

1) 舗装

沈下、カラー舗装のがたつき不陸等であるが、著しい不良箇所はなかった。

2) 防護柵

パネルのボルト脱落が数箇所ありましたが、荷物の積み下ろしの為に、人為的にはずしたと思われる。2回目の点検であり、当初と比べると驚くほど数は減少しており、点検の効果があがっていることがわかる。自動車の衝突等で支柱の止め金具がはずれている箇所があった。

3) 街路灯、標識柱

標識柱は特に問題は無かったが、街路灯の歩道面から約30cmまで腐食が著しいことは、降雨によるはねかえりで環境が悪いためである。早期に部分塗装が望ましい。

4) 落下物・放置物

空缶および街路樹等に取り付けられた違法看板の量が多かった。

5) 反射テープ補貼

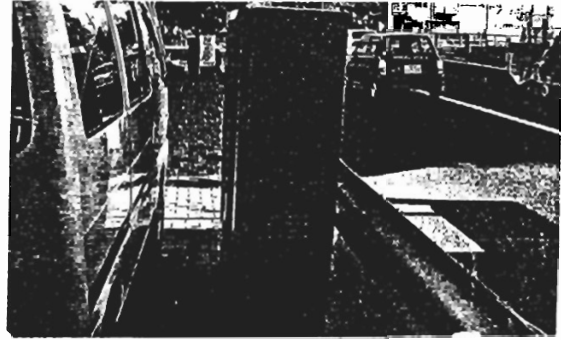
歩道上車止めボールの反射テープがとれているものに補貼りを行った。

以上が点検作業の報告ですが、点検項目にないけれど気になりましたこと。

1) 変圧器が傾いている?

東電の地上施設として変圧器が数多く設置されているが、

歩道の横断勾配なりに建てられている箇所があり、傾いて見えるのがあった。構造物は通常垂直に建てられるべきだと思うのですが、写真で分かるように奇異な感じがします。占用許可をする際、美的、社会通念等も含めて指導が必要かと思いました。



東電の変圧器が傾いて見える

2) 歩道橋桁と橋脚との取り付けボルトの脱落

豊玉北歩道橋のボルトが1本抜けていたもので、2本中の1本が無いので地震時の安定性に問題があると思われる、さっそく補修課に報告した次第です。筆者の商売上の悲しい性で発見したものでお許し下さい。

「普通救急救命講習会」に参加して

担当役員 二宮克弘

12月5日、新宿消防署で14名の会員が参加して「普通救命講習会」が開催されました。講師は新宿消防署の田中技術係長さんに、3時間にわたり、講演、実習をお願いしました。

参加者全員初めての体験に戸惑いながらも、熱心に受講し、無事終了しました。14年度東京消防庁の救急車の出動件数は、63万件にものぼり、電話119番で救急車を呼んで、現場到着まで、約60分かかるとのこと。

倒れた人を救うには、「早い通報」「その場に居合わせた人の救命手当」「救急隊員の救命手当」「医療機関での処置」が不可欠な要素で、そのいずれが欠けても大切な命を救うことは出来ないそうです。



人工呼吸の実習風景

そこで今回の講習は、成人に対する心肺蘇生法としての救命観察の手順、気道確保要領、人工呼吸法、心臓マッサージ要領と大出血時の止血法、のどに物が詰まった時の異物除去要領を学びました。この講習会で救急救命技術を習得された受講者には、後日「普通救命修了証」が渡されます。

まだ、この修了証をお持ちでない方は、次回の講習会には是非参加してみても如何ですか。

環状第8号線視察会を終えて

行事担当役員 田中稔

今年は第四建設事務所のご好意により、環状第8号線の「岩淵から南田中まで」の視察会を催しました。17年度全通を目指す建設局の最重点事業ということもあり、57名の申込を受けましたので、サブの乗用車を用意して希望者全員の参加の措置をとりました。当日は、北本通りから環8が分岐する赤羽交差点に集合してバスに乗り込みました。出発地から林所長他横山補佐、島田補佐の同乗を得て、施工中現場に到着するまでの間も、逐次説明を頂くなど、丁寧な案内を頂きました。(バスガイドさんには申し訳ない気もしたが)

施工中の各現場では、それぞれ工区長さんや施工者の懇切丁寧な説明を受けることができました。

視察ルートは、岩淵→相生町交差点(車窓)→若木現場・(北町地区概要説明)→練馬春日町トンネル(車窓)→東武工区・北町トンネル→南田中トンネル(その3・4)・西武工区→南田中インフォメーションセンター→解散となりました。

- * 最初は板橋区若木の現場、この地区の工事は地形が複雑なうえピート層(以前、この付近は徳丸ヶ原と呼ばれ一面葦原で、荒川の氾濫域でした。)という超軟弱地盤を改良しながらの土砂の切り盛り工事に苦労がしのばれました。
- * 振り向けば相生町交差点、ここは地表部の補助第201号線と高架の首都高速5号線の間に環状第8号線が割って入るため環状第8号線部をシェルターで覆い、シェルター内の排気ガスの約9割を吸引し、窒素酸化物を約8割、浮遊粒子状物質を約9割除去する大気浄化システムを採用するそうです。
- * 練馬区北町、川越街道交差点部立体交差は下部工事の一部を残し完成しており、東武東上線の交差点トンネル工事の一部を残し完成していた。また、東上線の直下の工事はパイプルーフを上部と左右に施工し躯体を「フロントジャッキ工法」で施工が概ね終了していました。
- * 練馬春日町トンネルは既に供用開始されていますが、トンネルのU型擁壁部の張出し部にカーブを採用し、運転手にソフトな印象を与える工夫がされていました。
- * 練馬中央陸橋は「鋼8径間連続非合成板桁橋」延長約400mの床版に目地がない。国土交通省の指導だそうです。走行性の向上や防音壁の設置により沿道環境が保持されます。
- * 南田中～貫井トンネルでは地下水脈を乱さないよう躯体の一部区間をフローティング工法(沈埋工法)

で施工している。

この区間は、環8の南側から北側に流下する地下水脈がある。井荻トンネルの施工経験から南側と北側の水位差を1m以内に抑えるため、適切な間隔で40m区間や20m区間に当該工法が使用されていました。

マリン工事等では、ドライドックでケーソンを製作し海面に浮かせて曳航し所定の場所沈設することや台船上で橋桁を組み干満の差を利用して桁架設する現場を見てきましたが、内陸部の練馬区内でこの工法が採用されていることに驚きました。

- * 西武工区では女性監督員の中村さんのテキパキした説明は好印象を受けました。



中村監督員の説明を熱心にくく会員たち

- * 最後に西武池袋線の練馬高野台駅付近にあるインフォメーションセンターで環状第8号線と補助第134号線との分岐部の複雑な構造や車線構成等を大きな模型(三千万円以上で製作)で説明をしていただきました。



模型の前で熱弁を振るう島田補佐

- * 現場見学させていただいたずれの工事も都市土木の粋を集めた工事の連続でした。施工業者は超一流とはいえチリチリ落ちていない現場、四建職員の適切な説明、林所長をはじめ関係職員の努力はいかばかりと感銘いたしました。

林所長、横井工事第一課長、横山補佐、島田補佐、東西の環八工事事務所長や監督員の皆様、本当にありがとうございました。事業の無事完工を祈って止みません。

寄稿 「三宅島を想う」

港湾局 離島港湾部長
原 田 龍 次

順調なインフラ整備

先日(11月末)半年ぶりに三宅島を訪れた。ヘリコプターで島の上空にさしかかると、どんより曇っているなか、空港ターミナルを境に島の南側は樹木が緑だが、北側は「火山ガス」のせいで山全体が赤茶けているのがはっきり見てとれた。三宅島空港に降り立ったところ、この6月まで総務局局務担当部長として三宅島災害対策に従事し、建設局・産労局・港湾局・水道局等ハード局と連携し、道路・砂防ダム・水道・港湾等ライフラインを含む基盤整備を推進してきたので、久しぶりの三宅島は感慨深いものがあつた。

今回の噴火災害の今までにない大変さは「火山ガス」と「泥流」である。平成12年7月から8月にかけての噴火災害により大量の火山灰(東京ドーム9杯分と言われている)が全島に積もった。それが雨により泥流となり、山腹の石や倒木を巻き込みながら、土石流となって道路を始めとするライフラインや住宅を損壊させ、農地や山林にも被害を与えた訳である。

平成12年9月には全島民が一斉に避難し、現地災害対策本部も「ホテルシップ」から「神津島」に移し、船による渡島作業を開始した。道路を始めとするインフラの被害は甚大であり、簡単には復旧できず、風や雨により島にアクセスできない日も多く、作業が思うようにはかどらなかった。さらに火山ガス(二酸化硫黄)のためガス検知器やガスマスクを携行しての作業を強いられる等、復旧作業は効率の悪いものであった。神津島からの渡島方式では作業時間も短く非効率なので、三宅島常駐化が叫ばれ、火山ガスを脱硫化する脱硫装置付宿舍(クリーンハウス)を整備することにより本格的な災害復旧への取り組みが可能となった。今から振り返ると神津島からの渡島作業の頃が一番苦しかったように思い出される。平成13年夏頃に作業員用のクリーンハウスが出来始め、この2年間で災害復旧事業も大いに進捗した。

今回の視察は、港湾局長・技監を含む12名で構成され、災害復旧の進捗状況、港湾・空港施設の整備状況、火山ガスの動向把握等を内容とした調査であり、三宅支庁土木港湾課長の案内で始まった。島内を一周したところ、道路(特に都道)は半年前に比べ大きく進んでいた。赤場岬の橋梁2つを含む道路は将来三宅島の名所となるような立派な道路である。また、沢筋で泥流を避けるため海側へ仮橋を架ける工法を採用したが、もう本橋もほぼ出来上がり、仮橋も撤去されていた。

泥流が住宅や公共施設へ侵入するのを防ぐ砂防ダムや治山ダムは、砂防ダムが、計画51基の内28基と6割程出来ており、山の高い所で施工のやりにくい治山ダムも22基完成しており、泥流対策は先人が培ってきた

「土木技術」を活用することにより対策が講じられたことになる。

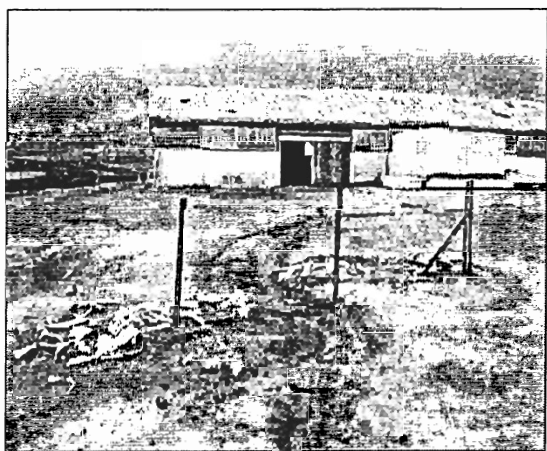
当局所管の港湾・漁港は、噴火による地殻変動により、約20cm～1.0m程度の地盤沈下が生じた。そのため船舶の接岸に支障を来たすので、岸壁の嵩上げの復旧工事を行った。また、帰島後の島の復興の支援となる燃料油等の輸送船の泊地を確保するため、岩盤の撤去作業も行っている。私共の調査当日も、阿古漁港では浚渫船が岩盤を削る力強い響きをあげ施工していた。これにより、島民が帰っても漁業は比較的スムーズに軌道に乗ると確信できた。

このようにインフラ整備は、水道・電気・電話といったライフラインも復旧しており、山の上の治山ダムや林道の復旧を除き順調で、いつ島民が帰っても大丈夫な程度に基盤整備は進んでいる。

2. 島民を阻む火山ガス



雄山中腹部付近(枯れ木の山)



雄山中腹部の牛小屋(牛の白骨が見える)

一方、今回噴火のもう一つの問題である「火山ガス」については、火山噴火予知連の発表では、「二酸化硫黄の放出量は長期的には低下しているが、最近一年程度は概ね横ばい傾向となっており、帰島を判断できる程度にはなっていない。」としている。私達は、村道雄山線を上り、雄山中腹のレストハウス付近で、かつて牧草地として青々としていた地帯が、泥流や火山ガスにより、木が枯れ草も生えない荒涼たる風景を目のあたりにし、一同絶句した。さらに噴石で壊れた牛舎や牛の骨を見るにつれ

災害のすさまじさを実感させられた。折りしも火山ガスの灰色のかたまりが山頂から大量に降りて来た。ちょっと臭うなと思ったら、急に臭気が強くなり、呼吸器が弱い人から咳き込み始めた。保安要員の消防隊員の検測で濃度1.0ppm以上が観測されたので、全員ガスマスクを装着した。

本年3月に「三宅島火山ガスに関する検討会」(東京都・内閣府)がまとめた報告によると、健康影響からみた二酸化硫黄の目安を長期的影響と短期的影響に分け、さらに短期的影響を呼吸器の弱い人や幼児・妊婦等感受性の高い人と一般の人に分け、それぞれの濃度レベル1~4に分類し、感受性の高い人に重大な影響を及ぼす濃度として0.6ppm(レベル2)、一般の人に注意が必要な2ppm(レベル3)は極めて適切であると痛感した。今回私達が吸った1~2ppmでもかなり咳込むので、呼吸器疾患などの感受性が高い人が島で生活するには未だ厳しい状況である。それに対応するには、検討会が提言している、①火山ガスの監視・観測体制、②火山ガスの緊急情報の伝達、③避難体制の整備、④健康管理及び医療体制の確保等、安全確保対策を三宅村や東京都が着実に実施することが不可欠である。

当局所管の空港もPAPI(進入角指示灯)やエプロン灯やターミナルビルの金属部分は錆び、雨漏りで天井が抜けるなど火山ガスの被害は甚大である。さらに、一般の民家の屋根は三池地区(ガスの濃い地区)を中心に、トタン屋根が腐食し穴があき、見るも無残な家屋が多く、これからの再建の大変さを改めて知らされた。

3. 三宅島に希望を

現在、帰島に当たっては相当な準備期間が必要であることから、内閣府・東京都・三宅村により「三宅島帰島プログラム準備検討会」が設置され、火山ガスに対する安全確保対策、基盤整備への対応や生活再建をどうしていくかという視点から整理し、平成16年3月を目途に報告書がまとまる予定である。

火山ガスや長期間住んでいないために起こる住宅の傷み、降灰や火山ガスで被害を受けた農地や山林の回復、火山ガスの監視や避難体制といった今までにない膨大な対応すべき問題がある。

それらに対して、一つずつきめ細かい対策が体系的に必要であり、それらを克服して始めて帰島が視野に入ってくるのである。

今回、半日の調査を終えて、再び三宅島空港を飛び立った。上空から見るとガリと呼ばれる地面が裂けたような亀裂がはっきり分かる。その下流には泥流を受ける砂防ダムが象徴的に見えた。人間にたとえていうならば傷口に絆創膏を貼った満身創痍となった体のようで、早く回復を願わずにはいられない。

三宅島の島民のふるさとへの望郷への想いは強い。火山ガスが少しでも収まり、帰島を果たしたあと、森林や農地を始めとする植生が戻り、緑に包まれた再生三宅島を願いつつ私共は帰路についた。

第五回都響三宅島支援 チャリティコンサート

日時： 2004年3月7日(日) 14時開演

場所： ゆうぽうと簡易保険ホール(JR五反田駅下車5分)

出演者： 指揮 児玉 宏 司 会 頼近美津子

ソプラノ 野田ヒロ子 テノール 平尾憲嗣

曲目： メンデルソーン：交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」

J・シュトラウス：喜歌劇「こうもり」序曲

レハール：喜歌劇「メリー・ウィドウ」<ヴィリアの旅>

レハール：喜歌劇「微笑の国」<君は我が心のすべて>

マスカーニ：歌劇「カヴェレリア・ルスティカーナ」間奏曲

ヴェルディ：歌劇「ラ・ボエーム」<ミミの登場・冷たい手を・私の名はミミ・愛らしい乙女>

J・シュトラウス：ワルツ「春の声」

料金： S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000

学生割引 各席の50%引き

シルバーエイジ(65歳以上、100席限定) 各席50%引き

お問合せ： 都響ガイド(東京文化会館1階 東京都交響楽団事務局内 電話：03-3822-0727)

その他： 託児サービス・ハンディキャップ割引があります。詳細は都響ガイドにお尋ねください

編集部註：この演奏会は、三宅島島民が全島避難された翌年の4月に第一回を開催し、今回で5回目を迎えます。毎回、収益金を「三宅村災害義援金口座」に振り込まれているそうです。協会員の皆様も是非ご協力ください。

編集後記

- ★ 今月号は、9月の防災訓練を中心に編集しました。
- ★ ご寄稿下さいました原田龍次部長には、議会中のお忙しい中にもかかわらず、三宅島の最新情報を快く執筆していただき有難うございました。
- ★ 4ページの小森和夫氏原稿は、すでに8月の時点で頂いていましたが、ページ数の関係で、9号(9月24日発行)には、掲載出来なかったことを深くお詫びいたします。そのため、動物園パスポート(7月発売)のニュース性が、薄れてしまいましたこと、重ねてお詫びいたします。
- ★ 三宅島支援チャリティコンサートをよろしく。
- ★ では、皆様良いお年をお迎えください。(城之内)